

事業所名

福島県総合療育センター おひさま

支援プログラム

作成日

R7年

3月

1日

法人（事業所）理念		障がいや疾病の発生予防に努めるとともに、それらの早期発見や治療・訓練及び保育などの早期療育を行うことによって、子どもが健全に育成されるよう支援します。児童並びにその家族が地域の中で生き生きと生活できるよう支援します。						
支援方針		お子さん一人ひとりを保育・医療・訓練等さまざまな側面から総合的に把握し、それぞれに合った保育を展開していきます。また、調和のとれた心身の発達を目標に主治医や担当訓練士等と相談しながら保育を行います。						
営業時間		9時	30分	12時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・利用開始前には、医師の診察を受け、健康状態の把握に努めます。 ・スモールステップにて基本的な生活スキルの獲得を目指します。 ・食育の一環として畑での野菜づくりを行っています。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・PT・OT・ST等訓練士と連携し、一人ひとりに合った支援をします。 ・講堂遊び、ハンモック、バランスボールなどの粗大運動から製作活動などの微細運動と幅広い遊びを取り入れ、筋力の維持・向上や感覚の成長発達を図ります。 ・外部の先生による音楽療法を実施しています。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・知育玩具や教材などを用いて、一人ひとりに応じた個別の課題を設定して取り組みます。 ・カレンダーや人形を使いながら当日の日付・曜日・天気を提示して、お子さんと一緒に確認することで日付や天気などの概念の習得を図ります。 ・TEACCHプログラムを活用して視覚的な支援や環境設定を行っています。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・言葉だけでなくカードや実物、サイン・ジェスチャーなどお子さんにあったコミュニケーションの方法を取り入れ、円滑なコミュニケーションを行うとともに、コミュニケーションスキルの向上を図ります。 ・必要に応じて内外部の専門機関と連携を図ります。 ・「伝わった」喜びを大切にに関わり、お子さんの自信につながるよう支援します。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・小集団活動により、安心してお友達と遊びに参加したり、ルールを学んだりして社会性を育みます。 ・家族以外の人との関わりを通じて、人間関係の基盤づくりを図ります。 ・遊びの中で、対大人・対お友達とのやりとりをすることで対人関係の経験を積んでいけるよう支援します。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・日頃からのコミュニケーションをはじめ、定期的に個別面談を行い、保護者の不安軽減に努めるとともに、相談支援や情報提供を行います。 ・保護者会として年3回程度、学習会やレクリエーションを行います。 ・親子行事を行います。（音楽療法、遠足、夏祭り、クリスマス会など） ・関係機関との連携を図ります。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・お子さんの成長や生活・環境の変化などに応じて、保育園・幼稚園・他の児童発達支援事業所などに対して適切な保育・療育・教育が受けられるよう移行先と連携を図ります。 ・受け入れ体制づくりへの協力など後方支援を行います。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援機関・医療機関・教育機関・福祉等関係機関、その他の機関との連携を図り、情報共有や地域支援の体制の構築を行います。 			職員の質の向上		<ul style="list-style-type: none"> ・所内外の研修会、学習会や地域の連絡会・協議会などへの参加を通して質の向上に努めます。 	
主な行事等		音楽療法、親子遠足、夏祭り、水遊び、クリスマス会、節分、ひなまつり、お別れ会						